

## 【校長室便り】 No.2

H29年4月7日 久礼中学校 谷内宣夫

# 始業式あいさつ！



2・3年のみなさん進級おめでとうございます。

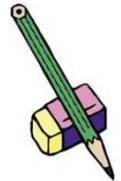
昨年の行事や生徒会活動、授業中の態度で、人の話を聴く姿勢、みんなで気持ちを一つにしてより良いものを作り上げようとしている皆さんの姿に、久礼中の新しく素晴らしい伝統ができつつあることを嬉しく思っています。あらゆる面で素晴らしい頑張りが見られ保護者や地域の方々から「久礼中は良くなったね」と、たくさんのお褒めの言葉をいただくことが多くなってきています。今年はさらに行事面だけでなく毎日の学習面・生活面でも活躍してほしいと願っています。久礼中の全教職員は、皆さんの学習面や生活面でのサポートをしっかり行い、だれもが安心していろんなことに全力投球できる学校を作り上げることができるよう頑張ります。生徒と教職員が笑顔で一緒により良い久礼中を作ることができる1年にしていきたいと思います。

皆さんに3つのことを伝えたいと思います。

## 上級生は下級生のモデル



1つ目は、上級生は下級生の良い見本となってほしいということです。3年生がしっかりして、頑張っている学校は、落ち着いて学習面に取り組み、部活動や行事面では活発になり成果も上がっています。



2年生の皆さん「2年生は3年生のやることをよく見てまねをしてください」1年生には「2年生のやることをよく見てまねをしましょう」とこの後の入学式で伝えます。

「3年生は常に2年生から見られている。自分の発言や行動がまねされるものと思って毎日の学習や生活、部活動に取り組んで下さい」。モデルとなる3年生が良ければ良いほど2年生も良くなります。2年生が良ければ1年生も良くなります。頑張っている上級生の姿や態度から、自然に下級生は憧れを持つでしょうし、尊敬もされるでしょう。

同様に教職員も生徒の皆さんから、尊敬されるように頑張っていきます。先生方の頑張っている姿や手本となる言動をよく見て良いことをまねてほしいと思っています。



3年生、2年生のみなさん、下級生のお手本となる行動をして尊敬される存在になってください。

## 心を磨いてください



2つ目は、いろんなことにチャレンジし自分の心を鍛え、磨いてほしいということです。人間の心は、磨けば磨くほど光ってきます。鍛えれば鍛えるほど強くなります。いたわればいたわるほど優しくなります。人間の心は突き詰めれば突き詰めるほど、すごさが増してきます。



自分の限界に挑戦し、自分の心を大きく成長させてください。そのためには、まず各授業や係活動、掃除など自分に与えられた役割を一生懸命に果たそうと努力することです。次に周りのことを考えて、みんなが気持ちよくなるためのことを少しやってみるということです。今年も頑張っている皆さんを褒めたいと思っています。いろんな「便り」で記事として取り上げます。輝いている姿を見せてください。

## 美しい言葉がいきかう学校

3つ目は「美しい言葉が行きかう学校」づくりに取り組んでほしいということです



「おはようございます」などの元気の良い挨拶や「はい」という返事、「ありがとう」など聞いて気持ちのよい言葉があふれるようになってほしいと願っています。また、目上の人に対する敬語やTPOをわきまえた言動など、高校や社会に出て恥をかかないですむ常識も身につけていきたいと思います。



1年間は「あっ」という間に過ぎ去っていきます。

全員に平等に与えられている「時間」を大切にし、社会に通用する人間と成長して下さい。

皆さんの頑張りを期待しています。以上で始業式の式辞を終わります。

